

# ●1分で見える世界景気／2018年3月末から見た2018年4月動向

※世界同時好況と複合リスク（米国利上げ、地政学、貿易関税）が同居する世界経済の中、日本はリーダーシップを取れるか？

欧  
州

## 英国/EU離脱、残り約1年

EUが移行期間20年末までを承認  
4月にEUと英の自由貿易協定の協議開始  
・17年GDP+1.9%→+1.8%

2018年政治リスク/・中東欧、イタリア、スペイン  
・英国のEU離脱交渉 ・欧州制度改革

## 政治、地政学、貿易関税リスク

ドイツ・メルケル政権4期目へ

・EU  
2月消費者物価指数+1.2%（前年同月比）  
1月失業率8.6（横ばい）  
2018年経済見直し  
上方修正+2.0%（+2.7%）

欧州中銀 経済見直し改善  
金融緩和縮小決定  
・月額600億ユーロ買入れ→300億ユーロ  
・期間を17年12月末→18年9月末まで延長  
・6月理事会に注目集まる

## 中国

## 地政学 & 貿易関税リスク

18年経済成長率目標 6.5%前後  
※17年GDP+6.9%（昨年6.7%）

2月主要都市新築住宅価格動向（前月比）  
上昇44都市（▲8）、横ばい10都市（+5）、  
下落16都市（+3）

・2月新車販売+1.72%（前年同月比）  
・3月 製造業PMI（景況感指数）51.5  
・2月消費者物価指数+2.9%

## トランプ政権

## 米国

## 雇用増、設備投資増

地政学 & 貿易関税リスク  
景気好調 ※2018年予想+3.0%（昨年+2.3%）

2月雇用+31万人

賃金上昇率+2.6%（前年同月）、失業率4.1%

FRBのパウエル新議長の手腕が問われる  
（利上げはいつ？ 何回？）

・新車販売▲2.4%（前年同月比）、生産台数増加  
・新築戸建販売件数2月+4.3%（前年同月比）

## 日本

## 地政学 & 貿易関税 × 国会リスク

## 経済堅調、雇用改善

・1月失業率 2.4%

（1993年4月以来 24年9ヶ月ぶりの低水準）  
企業設備投資は今後3年間は平均で年4.8%増加  
（17年度企業行動（上場企業）に関するアンケート調査）  
社会保障、賃金上昇、働き方改革の歩み、ややもたつく

●日銀 黒田総裁再任スタート 緩和維持  
（物価2%達成まで）

金融緩和が量から金利へ  
①短期金利（-0.1%）②長期金利を0%へ誘導決定

世界同時好況と米国利上げ、地政学、貿易関税の複合リスクが同居する中、ポスト適温経済のリーダーはどの国か？

緩和とポスト

## 新興国 回復の傾向鮮明に

- ブラジル/2017年度GDP+1.0%（前年比）景気下落底打ちか
- インド/2017年10-12月期GDP+7.2%（前期比）
- オーストラリア/2月雇用+17,500人 17ヶ月連続増加
- アフリカ全体/18年から19年+4.1%まで上昇と予想（アフリカ開発銀行）
- イラン/17年GDP+3.5%（昨年+12.5%）で急減、地政学リスクが影響か？